

2008年度の全社的な環境マネジメントの実施状況

2008年度は、下図に示すとおり、CSR委員会を2回開催し、2008年度の環境保護の取り組みについて報告するとともに、更なる改善に向けて議論しました。この結果は、NTT西日本の環境経営推進室とグループ各社の環境担当を通じて、NTT西日本グループ全体へ展開しました。

委員会の実施状況

第1回CSR委員会 (2008年4月15日)

- 1 西日本グループにおけるCSR活動の更なる推進について
- 2 環境保護活動について
- 3 社会貢献活動表彰について

第2回CSR推進委員会 (2008年11月12日)

- 1 CSR活動の推進について
- 2 環境経営推進方針について
- 3 「社会貢献活動表彰」の選考について
- 4 「環境保護活動表彰」の選考について
- 5 平成21年度「ボランティア・ギフトプログラム」の実施について

2008年度の行動計画目標の達成状況

2008年度の行動計画目標の達成状況については以下になりました。

温暖化防止対策

2008年度目標 CO₂排出量原単位の削減率を2000年度比で5%以上削減するとしていました。

2008年度実績は、25%の原単位削減を達成しましたが、今後も電力使用量の増加が見込まれる、削減に向けて引き続き努力していきます。

廃棄物削減対策

2008年度実績は2010年度目標に対しては順調に推移していますが、対前年度と比べると0.2万tの増加となりました。

行動計画目標と2008年度の実績

対象項目	行動計画目標 (2010年目標値)	実行管理項目	単位	2010年度 目標値	1998年度 実績値(確定値)	2000年度 実績値	2008年度		評価
							目標値	実績値	
温暖化防止	CO ₂ 排出量を2000年度を基準として契約数あたりのCO ₂ 排出量原単位*1を15%以上削減する。	電力使用によるCO ₂ 排出量*2	万t-CO ₂	—	54.6	57.2	80.46	86.3	Y
		社用車からのCO ₂ 排出量	万t-CO ₂	—	1.39	1.32	3.21	3.2	YY
		ガス・燃料消費によるCO ₂ 排出量	万t-CO ₂	—	2.86	2.34	0.93	0.7	YYY
		合計	万t-CO ₂	71.0	58.9	60.9	90.8	90.2	YY
		CO ₂ 排出量原単位*1削減率	%	15%		0%(基準)	5%	25.4%	YYY
廃棄物削減	産業廃棄物の最終総廃棄量を1998年度比で50%以下にする。	撤去通信設備廃棄物量	万t	0.5	1.3	1.1	0.01	0.01	YYY
		土木工事産業廃棄物量	万t	0.35	1.2	2.5	0.02	0.1	Y
		建築工事産業廃棄物量/再資源化率*3	万t/%	1.5/80.0%	3.5/61.0%	1.9/88.0%	96%	0.47/96%	YYY
		オフィス内産業廃棄物	万t	0.28	0.26	0.44	0.04	0.06	Y
		合計(万t)	万t	2.6	6.3	5.94	—	0.6	YYY

※1. CO₂排出量原単位とは、CO₂総排出量を契約者数で除した値。

※2. 電力使用量のCO₂排出係数については以下のような係数を年度ごとに採用しています。

1998年度、2000年度は、電気事業連合会発表の係数を使用しています。2006年度以降は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に基づいた各電力会社別の係数を使用しています。

※3. 管理対象は再資源化率。

低 Y → 自己評価 (達成度) → YYY 高

環境監査結果

2008年度の監査結果では、軽微な指摘事項が7件あり、全て是正措置を行いました。一方、環境関連法違反による行政処分・罰金などの処分を受ける事例はありませんでした。

環境教育

NTT西日本グループでは、全社員の環境への意識を高めるため、全社員に対して環境問題に関する研修を実施しました。社員一人ひとりが環境についての意識を持ち、環境に対する取り組みを実施しています。

NTT西日本グループでは、環境セルフチェック (P12参照) を行うにあたり、各組織の実施責任者となる社員を対象に環境セルフチェックセミナーを開催しています。

本セミナーは、環境セルフチェックを実施するためのスキルの習得にとどまらず、環境法令や環境に関する社会的動向等の知識の習得と環境保護活動に対する意識向上の役割を兼ねた環境教育の一環としており、2008年度は、195名が受講しました。また、セミナーは環境負荷低減のため、2006年度から遠隔研修にて実施しています。

全社員研修風景

